



- 豊かな自然や歴史の景観ゾーン
- 1981年開設
- 4月上旬～5月上旬 見頃

応募者コメント

- 1「ネモフィラと舎人ライナー」**
舎人公園でネモフィラが見ごろと聞き撮影に行きました。
- 2「ネモフィラの蒼」**
舎人公園のネモフィラが青い絨毯のように一面に広がる様子が印象的で撮影しました。
- 3「遠くに行かなくても」**
遠くのひたち海浜公園にネモフィラを観に行かなくても、近くにあるよ。
- 4「舎人公園のネモフィラ」**
可愛らしいネモフィラが一面に広がり、素晴らしい風景でした。舎人公園は広くて自然豊かで楽しく過ごすことができました。
- 5「ネモフィラと舎人ライナー」**
毎年、数回訪れているのですが2023年ネモフィラが咲いているのでビックリし、売店の人に聞いたら今年が初めてとの事で感動しました。今年も行ったのですが人が多く、思うように写せませんでした。
- 6「ネモフィラの春散歩」**
春休み、お天気の良い日に高校生の息子と中学生の娘と3人で私のウォーキングに付き合ってもらい、舎人公園へネモフィラを撮影しに行ってきました。
- 7「舎人公園ネモフィラ」**
ペットと一緒にお花見
- 8「青色」**
青いネモフィラと青い空。東京で青色に染まりたくなったらネモフィラの舎人公園へ。
- 9「舎人公園 花と光のムーブメント」**
イルミネーションやお花がキレイだったから。

10「舎人公園のネモフィラを楽しむ人たち」

舎人公園のネモフィラとそれを楽しむ多くの人たちを撮ったものです。北側に向かって緩やかに登っているのでネモフィラが見やすくなっています。ネモフィラの後方には樹木と青い空が広がっており、この背景との対比でネモフィラが一層映えています。ここではネモフィラをまわりから見るだけでなく、花畑の中央に通路があるので花畑の中からも見るができます。また、疲れたら正面奥にある建物で休むことができます。ネモフィラの風景写真を見ると青色が目立っていますが、実際に見ると青色よりも白色の方がまさっています。舎人公園のネモフィラの規模はそう大きくはありませんが、見て楽しむのには適度な大きさだといえます。舎人公園のネモフィラは令和5年に登場したのですが早くも新名所になっています。

11「舎人公園 花と光のムーブメント」

舎人公園には、かなり以前に桜の木を寄付したことがあり、毎年桜の時期には訪れていた。近年は桜と共にネモフィラの花壇が評判となっており、沢山の人が鑑賞したり、写真を撮っていた。ネモフィラの花壇も小じんまりしていながらも、周りの風景に溶け込み趣があった。

12「舎人公園のライトアップ」

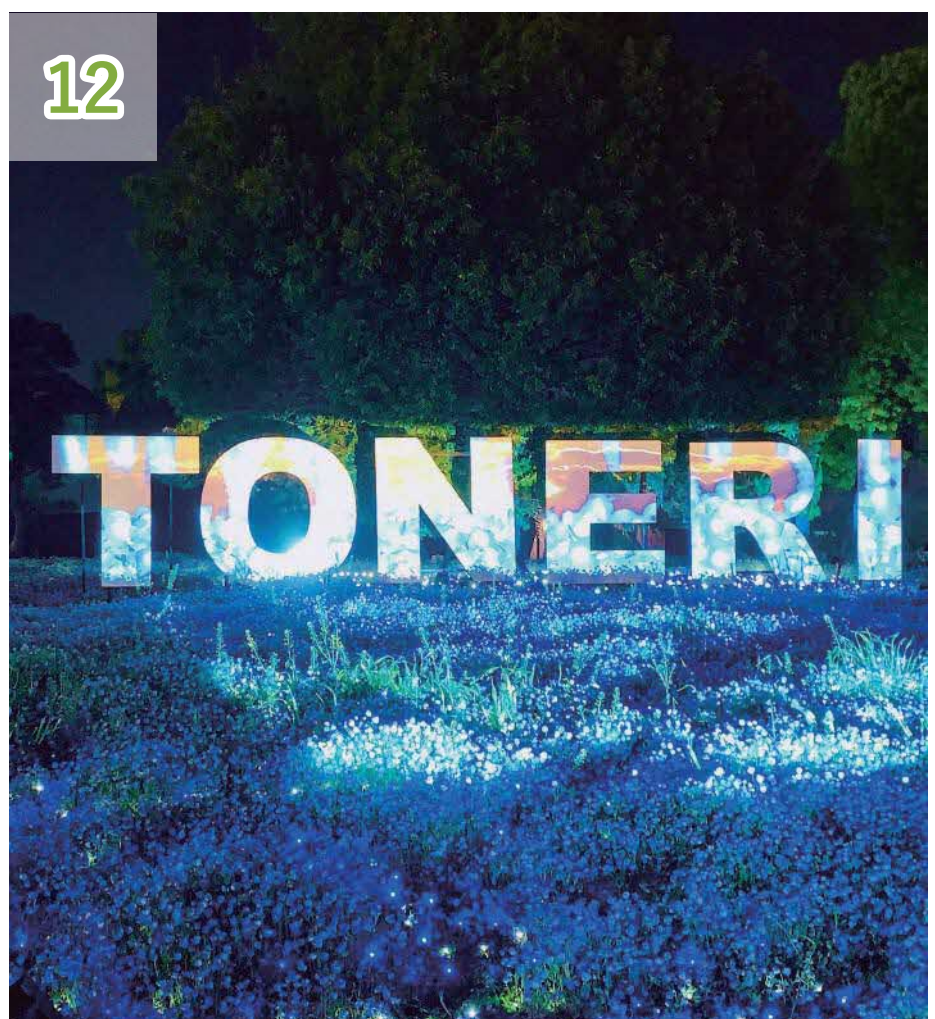
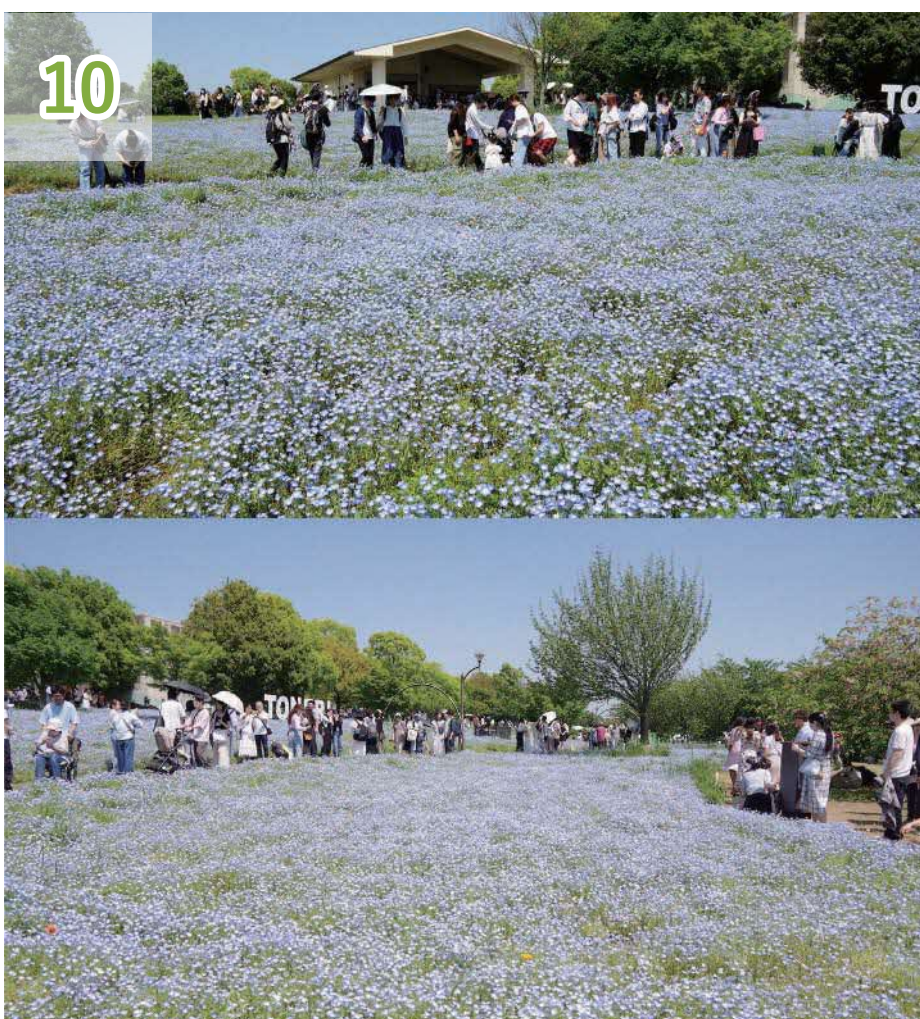
ネモフィラが綺麗で青いイルミネーションが綺麗だから。

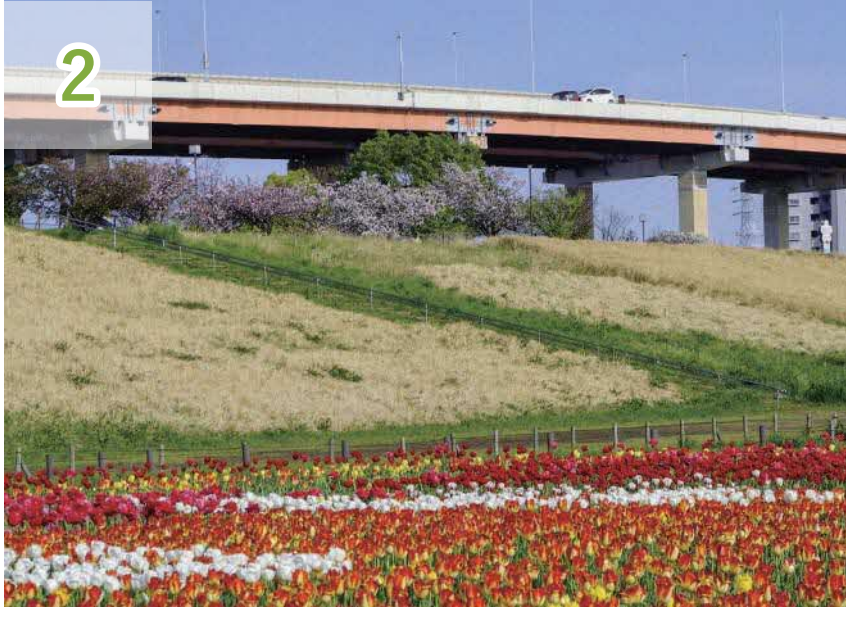
投票者コメント

- ・自分が行った時には咲いていなかったの、こんなにきれいなんだと思ったから。
- ・近くに住んでいるのに舎人公園の知らない景色を感じられてました。

委員コメント

- ・歴史がまだ浅いが一番多くの投票を集めており、多くの人に愛されている風景である。人の営みにより継続されている風景としても評価したい。





- 豊かな自然や歴史の景観ゾーン
- 景観重要都市公園
- 1984年開設
- チューリップ 3月下旬～4月初旬 見頃

応募者コメント

- 1「荒川河川敷のチューリップ」
チューリップ畑がこんなに広い。反対側に大きな木が一本あるのもポイントです。足立区の春の風物詩かな。
- 2「チューリップと桜」
河川敷大花壇のチューリップと土手上的の桜。区の花チューリップと区の木サクラが同時に楽しめる春のおすすめスポットです。
- 3「河川敷チューリップ大花壇」
夕刻のチューリップ花壇。人の波が途切れた一瞬。チューリップ大花壇を独り占めです。
- 4「春の都市農業公園」
チューリップや桜。沢山の花が咲く素敵な風景。
- 5「河川敷コスモス大花壇」
夕陽に照らされる満開のコスモスです。

投票者コメント

- ・チューリップの色々な色がきれいだから。
- ・農業公園のような公園は東京では珍しいと思われる一方、心が安らぐ良い施設です。
- ・足立区と言えば荒川。しかもチューリップ越しの高速道路のコラボがエモいです。

委員コメント

- ・都市農業公園の一部であるが、荒川河川敷に花壇があって独立している。広い河川敷に、春にはチューリップ、秋にはコスモスが広がり四季を感じる開放的な景観が形成されている。
- ・江戸期の夏菊、大正期のチューリップなど、花卉栽培も、人の営みによる農の風景として、足立の原風景の一つである。

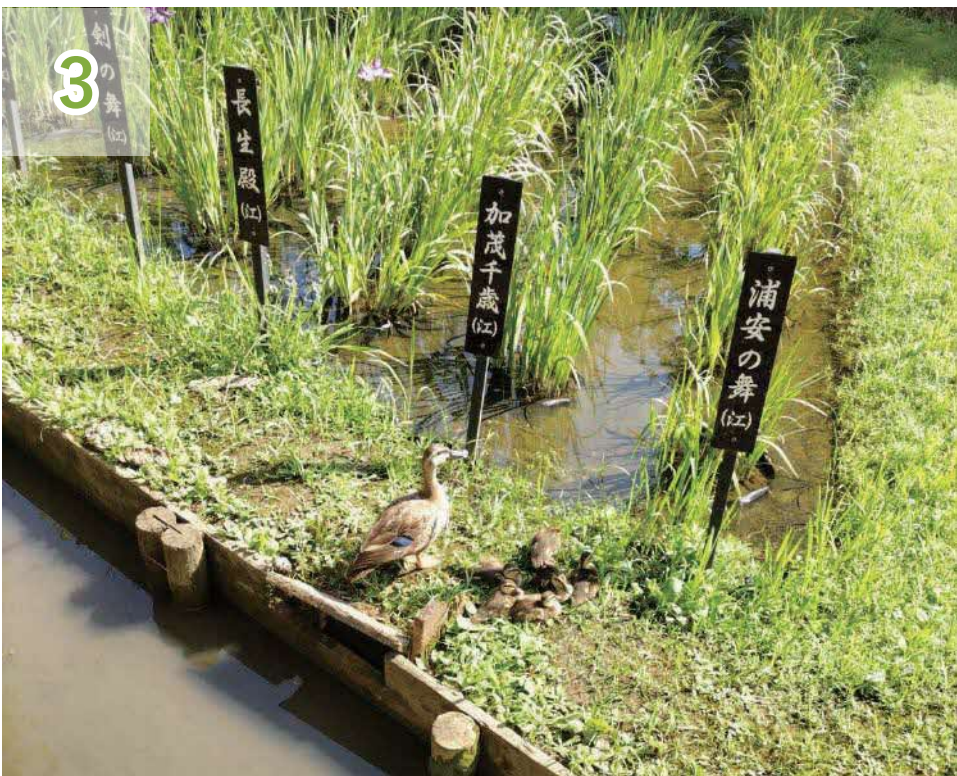
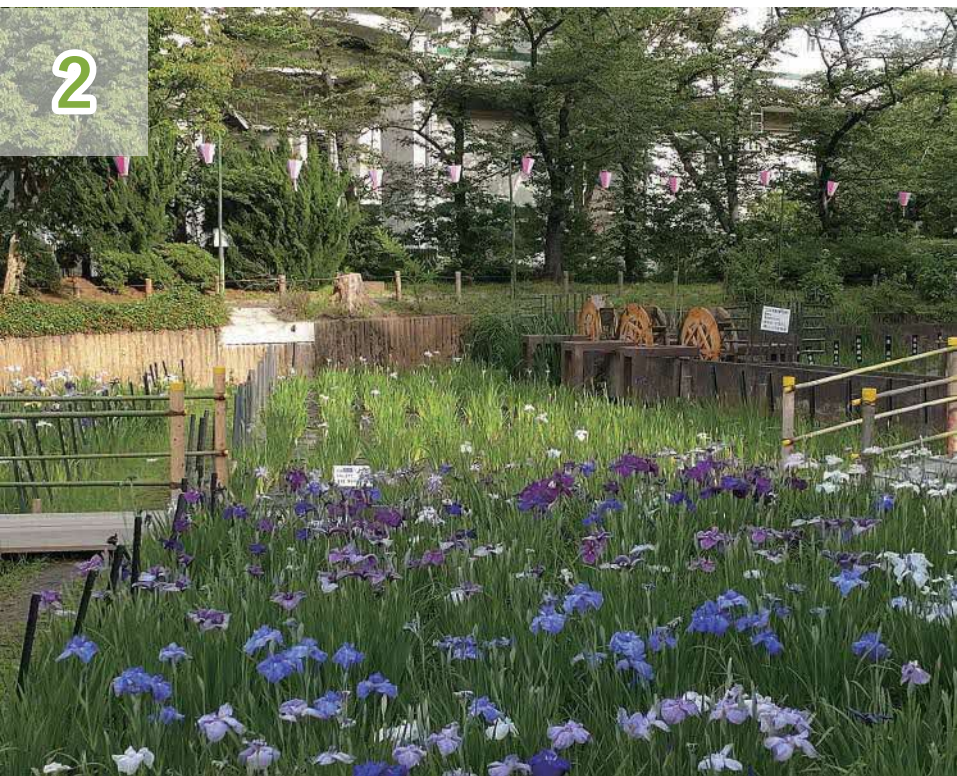
- 身近な水と緑の景観ゾーン
- 足立60景
- 1971年開設
- 6月上旬～下旬 見頃

応募者コメント

- 1「花のある足立」
毎年行われてるしょうぶ祭り。しょうぶが咲いてない時に行くといつても丁寧に管理されている方たちがいる。続けていかなきゃいけないし、引き継いでいかなきゃいけない。
- 2「駅前に菖蒲田」
北綾瀬駅。駅前に菖蒲田が広がります。
- 3「しょうぶの「加茂」と、鳥のカモ？」
しょうぶ沼公園にて、小鴨が生まれていました。偶然、加茂千歳(カモチトセ)というしょうぶの品種の前で日向ぼっこをしていました。
- 4「しょうぶ沼の季節」
今年もしょうぶ沼で楽しみな季節がやってきました。何回も足を運びたくなるような花菖蒲の風景です。
- 5「しょうぶ沼公園の花菖蒲」
しょうぶ祭直前しょうぶ沼公園に立ちよった際にあまりの美しさに撮影しました。手間をかけて手入れいただいている産物だと感謝でいっぱいです。今後も眺めていきたい光景です。
- 6「園児とカメラマン」
しょうぶ沼公園は市内でも上位の菖蒲の咲く場所です。足立区にそういう場所があるのは誇らしい。
- 7「カルガモ親子もお花見」
しょうぶ沼公園に花菖蒲を見に行った際にカルガモ親子に会うことができました。満開の花菖蒲と癒されるカルガモ親子の光景を見ることができ得をした日になりました。

委員コメント

- ・四季折々の風景を楽しむことができる。
- ・年間を通してショウブ田を維持管理していることやしょうぶまつりなどのイベントも含めて人の営みが感じられる景観となっている。



04
FLOWER

荒川の桜

江北二丁目ほか



- 豊かな自然や歴史の景観ゾーン
- 4月初旬～中旬 見頃
- あだち五色桜の散歩みち 鹿浜橋～西新井橋
- ワシントンの里帰り桜

応募者コメント

1「五色桜の散歩道」

足立区の桜は、数も多く全国に誇る風景だと思います。なかでも明治時代に都内有数の桜の名所として知られた荒川堤の五色桜を復活させたいという思いで植えられてきた「五色桜の散歩道」は今では四季折々にとても気持ちの良い散歩道をつくっており、訪れる人を楽しませてくれます。

2「江北JCTと五色桜」

桜の季節に近所を散歩していたらこの風景を見つけました。首都高と五色桜の風景が綺麗で、特にこの2本の桜と道路の並びがとても綺麗だと思い撮影しました。

3「荒川の五色桜」

八重桜が多いので普通の桜より遅めで、人も少なく穴場です。暖かい春の気温の中、河川敷ののどかな風景と、春の野草と桜を見るのが毎年の楽しみです。

4「五色桜大橋と首都高と桜」

江北ジャンクション付近の桜です。

5「都市農業公園の桜とチューリップ」

桜、菜の花、チューリップが同時に楽しめます。花見をする人、サイクリングやランニングをする人たちにぎやかで良い雰囲気です

委員コメント

- ・江北五色桜はワシントンの里帰り桜のさらにもとになった桜との情報もあわせ、資産として共有する価値があると考えた。
- ・花には風景を見させる力があると感じる。首都高がつくるかたい曲線に桜のつくるやわらかな曲線を重ねて見ることで、巨大高架道路を楽しんで眺める区民の感性に感嘆した。

05
FLOWER

青和ばら公園のバラ

青井三丁目 1 8 – 1 5

- 緑とゆとりを創出する景観ゾーン
- 1988年開設
- 5月上旬～5月下旬、10月上旬～10月下旬 見頃

応募者コメント

1「足立区立青和バラ園」

足立区に引っ越ししてきてGoogleマップで近くに薔薇園がある事を知り無料なのであまり期待せずに行ってみたら、コンパクトながらも綺麗な薔薇がたくさん咲いてました。手入れの行き届いたとても素敵な薔薇園です。

2「青和ばら公園」

いろんな種類のばらが咲いてとてもきれいです。

投票者コメント

・バラ公園もデイサービスの利用者がよく訪れて楽しそうに散歩しておられているのがすきです。

委員コメント

- ・約100種880株の色とりどりのバラが咲き、パーゴラや石畳が異国情緒を醸し出している。
- ・青和ばら公園は、公園内だけでなく、駅からもバラが広がって、街中にバラを推していく雰囲気がある。1輪のバラとしてフォーカスするか、群として面的にみるのかでイメージが異なる。地域の自慢としてバラがあって、その象徴がこの公園となっているということは十分な評価に値する。

